



当日はホンモノのレースみたいで、取材関係者たちには、こんなバスが配られた。別に控えて買わなくていいんだけど、ソレっほい。当日はTV取材も来ていたゾ。

草レース旋風、九州上陸!

草レース主催でおなじみのコルスが全国行脚、いよいよ九州にも上陸した。そのオプション2チャレンジ耐久は、九州初の草レース。イベントを待ち受けていた九州の走り屋たちが大分阿蘇レーシングパークに集結したぞ。九州初の草レース大盛況!

九州上陸!

いや、熱いっ! 熱すぎるぞ! と、とりあえず叫んでみたわけだけど、別に吉田A作のことをいってるわけじゃない。実は、九州で初めて超本格的な草レースが行われて、熱い盛り上がりを見せていたんだ。オプション2チャレンジ耐久シリーズin九州と銘打ったこのイベントは、スーパーバトルロイヤルでお馴染み、草レースの文字通り草分け的存在、コルススポーツと地元のカルマカンパニーリミテッドが協力しあって実現したんだ。



九州での草レースが熱く盛り上がった要因のひとつは、ギャラリィに女の子、それもカワイイ子が多いってこと。左側が折元直美サン(20)、右側が日高久美サン(20)。ちなみに、この二人の連絡先が知りたい人は編集部イケ丸まで(冗談だよ)。

カワイイ女の子もワンサカ応援に来ていたぞ!

な台数で耐久なんて、いったいどこでやるのかって? あるんですよこれが。そう、あの大分阿蘇レーシングパーク。それもフルコースだ。一時はF1の開催も夢ではなかったサーキットなわけだから、ウツワとしてはこれ以上の贅沢はないくらい。コースも設備も超一流だったゾ。形式的には、間瀬なんかで行われているものと同じように、予選形式の慣熟走行が行われ、速い順に上位

半部分が3時間耐久走行、それ以外は2時間となったわけだけど、台数が150台ってことで、半分でも約70台。当初はショートコースでの開催が予定されてたんだけど、急遽フルコースで行うことになったんだ。参加したのは、シテイ、マーチからNSXにBMWのM3まで、バラエティに富んでいて、福岡ナンバーから、なんと沖縄ナンバーのクルマまでいて、九州を中心に西日本の走

り屋たちが集結した一大イベントとった感じ。当日は残念ながら、タイムスケジュールが遅れてしまっって、2時間耐久走行が1時間に短縮されることになったけど、参加していたみんなに話



ロードスターで参加していた、ゼッケン103の今川サンチームは、3耐には残れなかったけど、超目立っていました。



3耐に出場したものの、惜しくもリタイアとなった飯田健吾サンのトレノとチームメンバー。実は沖縄ナンバーだった。



坂東親分のところで走らせていたハチロクのカラーリングで決めていた大石孝サンのレビン。全曜の夜はナンノに精を出してるらしい!



どこにだって参上しちゃうマッキー牧原サンが参る。BPトリアルレイプロス86。前日にエンジンを壊し、急ぎょ載せ換えての完走。

なんと、ギャラリーばかりか、実際に参加しているドライバーの中にもこんなカワイイ子が参加していたゾ。FC3Sでエントリーしていた村田麻由美サン(22)がその人。赤いレーシングスーツで男達に負けない走りを見せていた。実は、副編ウメハラの好みのタイプだったらしい。

当日は、はるばる大阪からトリアルチームもハチロクで参加していたぞ。お馴染みトリアルチームのマスコット、アイちゃんも応援に駆けつけていた。35℃を超えろスゴイ暑さで、みんなまいてたけど、照りつける日差しのおかげ、白いポロシャツに帽子をかぶったアイちゃんは元気いっぱい。ピットを明るくしていた。やっぱりいい見てもカワイイ。

